

東海第二発電所 状況説明会 開催のご案内

東海第二発電所は、原子力規制委員会より、2018年9月26日に原子炉設置変更許可、10月18日に工事計画認可、11月7日に運転期間延長認可をいただきました。

当社といたしましては、一連の許認可の内容をしっかりと安全性向上対策に反映させるとともに、引き続き安全第一で安全性向上対策工事を進めてまいります。

また、積極的な情報公開に取り組むとともに、関係自治体、地域の皆さまへのご説明に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

つきましては、発電所周辺市町村にお住まいの皆さまを対象に、東海第二発電所の状況をご説明する会を右記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

説明内容

- ①東海第二発電所 許認可の内容について
- ②東海第二発電所 安全性向上対策および工事の概要について
- ③質疑応答

バーチャル・リアリティ ご視聴いただけます

今般の説明会では、バーチャル・リアリティ（VR）をご視聴いただけるように準備しております。三次元の映像で、東海第二発電所から離れた場所においても建屋の中の様子を360度見回すことができるとともに、津波対策の防潮堤が完成した後の高さや厚みを体感できます。

ぜひ一度、ご視聴ください。

会場のスペースによって設置台数が異なりますので、あらかじめご了承ください。





「春のぼかぼかテラちゃんまつり」でのVR視聴風景

開催日程

市町村	開催日	開催時間※	場 所
東海村	4/23(火)	18:30~20:00	東海村石神コミュニティセンター
東海村	4/24(水)	18:30~20:00	東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」
東海村	4/26(金)	18:30~20:00	東海村村松コミュニティセンター
那珂市	5/8(水)	18:30~20:00	那珂市中央公民館
常陸太田市	5/9(木)	18:30~20:00	JA常陸まいづる
常陸大宮市	5/11(土)	10:30~12:00	常陸大宮市文化センター「ロゼホール」
城里町	5/11(土)	16:00~17:30	コミュニティセンター城里
東海村	5/13(月)	18:30~20:00	東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」
ひたちなか市	5/14(火)	18:30~20:00	ホテルクリスタルパレス
日立市	5/16(木)	18:30~20:00	久慈サンピア日立
水戸市	5/24(金)	18:30~20:00	茨城県総合福祉会館
鉾田市	5/25(土)	10:30~12:00	旭地区学習等供用施設
茨城町	5/25(土)	16:00~17:30	総合福祉センター ゆうゆう館
高萩市	5/26(日)	10:30~12:00	高萩市総合福祉センター
大洗町	5/26(日)	16:00~17:30	大洗文化センター
大子町	5/28(火)	18:30~20:00	大子町文化福祉会館まいん
笠間市	6/1(土)	13:00~14:30	笠間公民館
東海村	6/2(日)	10:30~12:00	東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」
東海村	6/2(日)	13:30~15:00	東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」
小美玉市	6/8(土)	13:00~14:30	小川文化センター「アピオス」

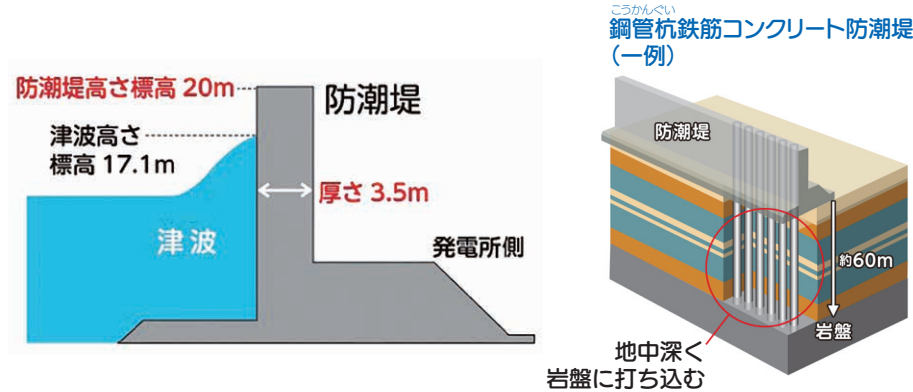
※受付は、開始時間の30分前になります。

東海第二発電所 主な安全性向上対策

福島第一原子力発電所事故では、地震の後に襲来した津波の影響により全ての電源が失われました。これにより、原子炉の冷却ができず燃料が溶融し、放射性物質が周辺環境に放出されました。東海第二発電所では同じような事故を起こさないよう、安全性向上対策を進めていきます。

津波から発電所を守ります

想定される最大の津波が襲来しても、防潮堤で発電所への浸水を防ぎます。



万が一、防潮堤を越える津波が襲来した場合でも、水密扉などで安全上重要な設備への浸水を防ぎます。



(例) 水密扉

電源を絶やしません

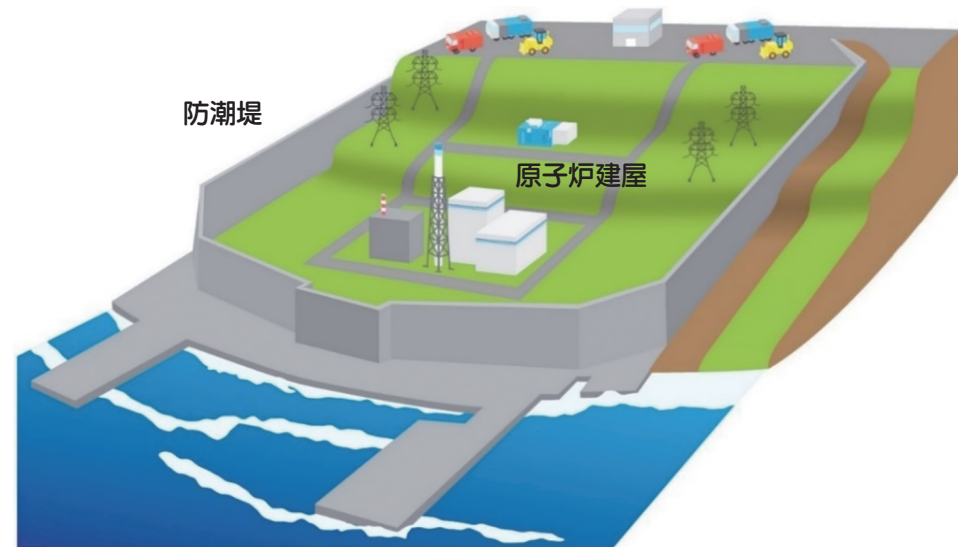
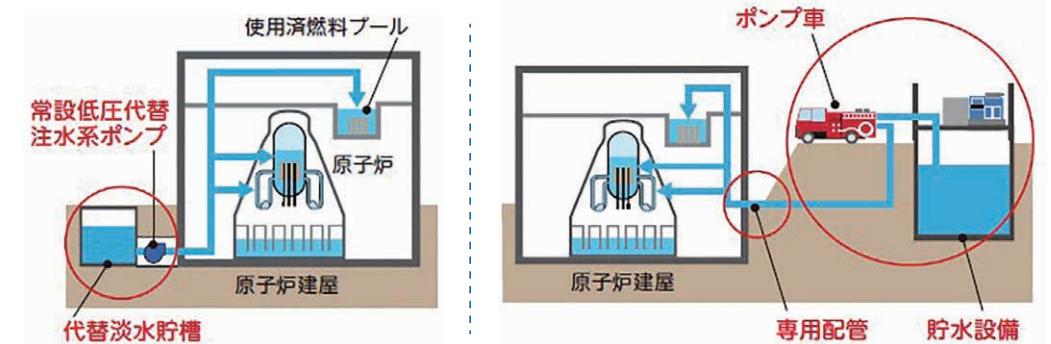
外部電源や非常用ディーゼル発電機が使えない場合に備え、高台に様々なバックアップ電源を用意します。

(例) 高圧電源車



原子炉などを冷やし続けます

貯水設備など、様々なバックアップ水源や注水手段を用意し、燃料の冷却を継続できるようにします。



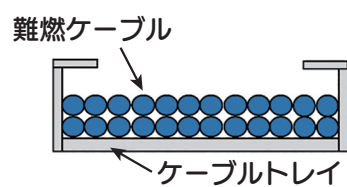
東海第二発電所 敷地全景 (イメージ図)

ケーブル火災の発生を防ぎます

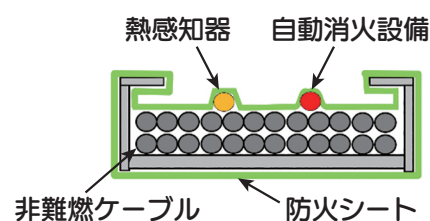
ケーブルからの火災の発生や延焼を防ぎ、その他の設備を守ります。



①非難燃ケーブルから難燃ケーブルへの取替え



②防火シートによる対策

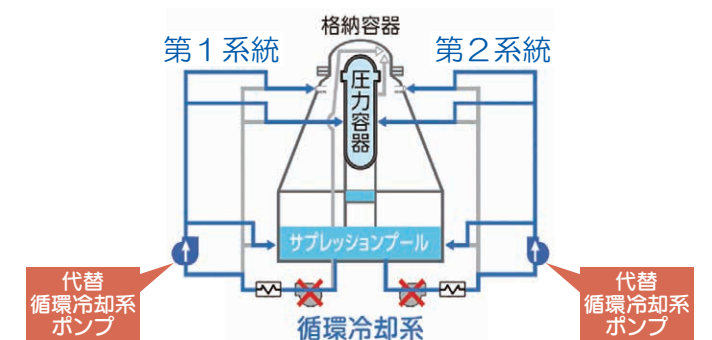


【今後の取り組み】

東海第二発電所は運転開始から40年を迎えた発電所ですが、これまでの長年にわたる点検や設備更新、さらには原子炉圧力容器などの特別点検結果も踏まえて、2018年11月7日に原子力規制委員会から運転期間延長認可をいただき、今後20年の設備の健全性が確認されました。また、東日本大震災の影響がないことも確認されています。今後とも、計画的な点検や設備の取り替えをしっかりと行っていきます。

環境を守ります

原子炉格納容器を冷却し続けるために、代替循環冷却系を2系統設置し、格納容器圧力逃がし装置の使用をできるだけ回避します。



万が一の際は、格納容器圧力逃がし装置により、格納容器の破損を防ぐとともに、放射性物質の周辺環境への放出をできるだけ低減させます。

